

製品名: CD58 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab08422**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	27kDa

抗原情報

遺伝子名	CD58
別名	CD58; LFA3; Lymphocyte function-associated antigen 3; Ag3; Surface glycoprotein LFA-3; CD58
遺伝子 ID	965.0
SwissProt ID	P19256
免疫原	抗血清はヒト CD58 の内部領域由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 31-80

背景

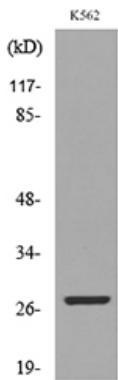
この遺伝子は免疫グロブリンスーパーファミリーのメンバーをコードする。コードされるタンパク質は T リンパ球 CD2 タンパク質の

リガンドであり、Tリンパ球の接着および活性化に機能する。このタンパク質は細胞膜に局在する。選択的スプライシングを受けた転写バリエーションが報告されている。[RefSeq 提供、2009年1月]機能: Tリンパ球 CD2 糖タンパク質のリガンド。この相互作用は、胸腺細胞と胸腺上皮細胞の相互作用、Tリンパ球と標的細胞および抗原提示細胞との抗原非依存性および抗原依存性の相互作用、そしてTリンパ球と赤血球のロゼット形成において重要である。さらに、LFA-3/CD2 相互作用は、CD2+細胞と LFA-3+細胞の両方による応答を誘導する可能性がある。類似性: Ig 様 C2 型 (免疫グロブリン様) ドメインを1つ含む。

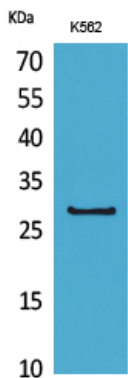
研究分野

細胞接着分子 (CAM)

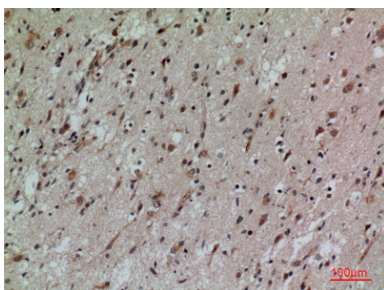
画像データ



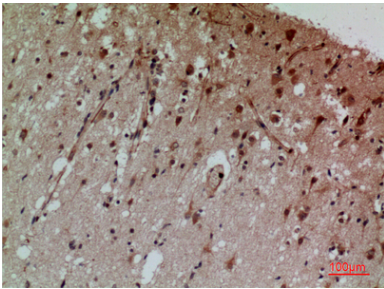
CD58 抗体を使用した K562 細胞の溶解液のウェスタン ブロット分析。



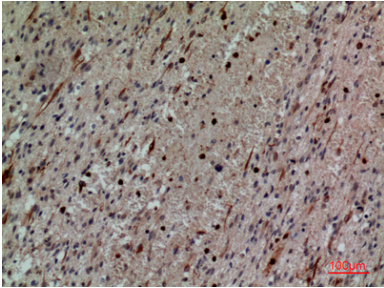
CD58 ポリクローナル抗体を用いた K562 細胞のウェスタンブロット分析。二次抗体は 1:20000 に希釈された。



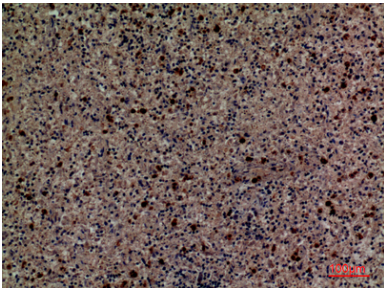
パラフィン包埋ヒト脳の免疫組織化学分析、抗体は 1:100 に希釈された



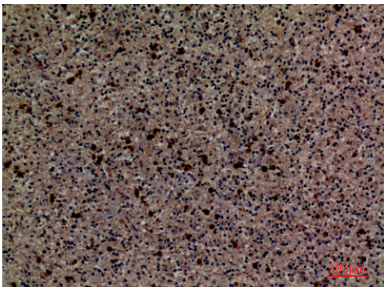
パラフィン包埋ヒト脳の免疫組織化学分析、抗体は 1:100 に希釈された



パラフィン包埋ヒト脳の免疫組織化学分析、抗体は 1:100 に希釈された



パラフィン包埋ヒト脾臓の免疫組織化学分析、抗体は 1:100 に希釈された



パラフィン包埋ヒト脾臓の免疫組織化学分析、抗体は 1:100 に希釈された